

令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立意東小学校)

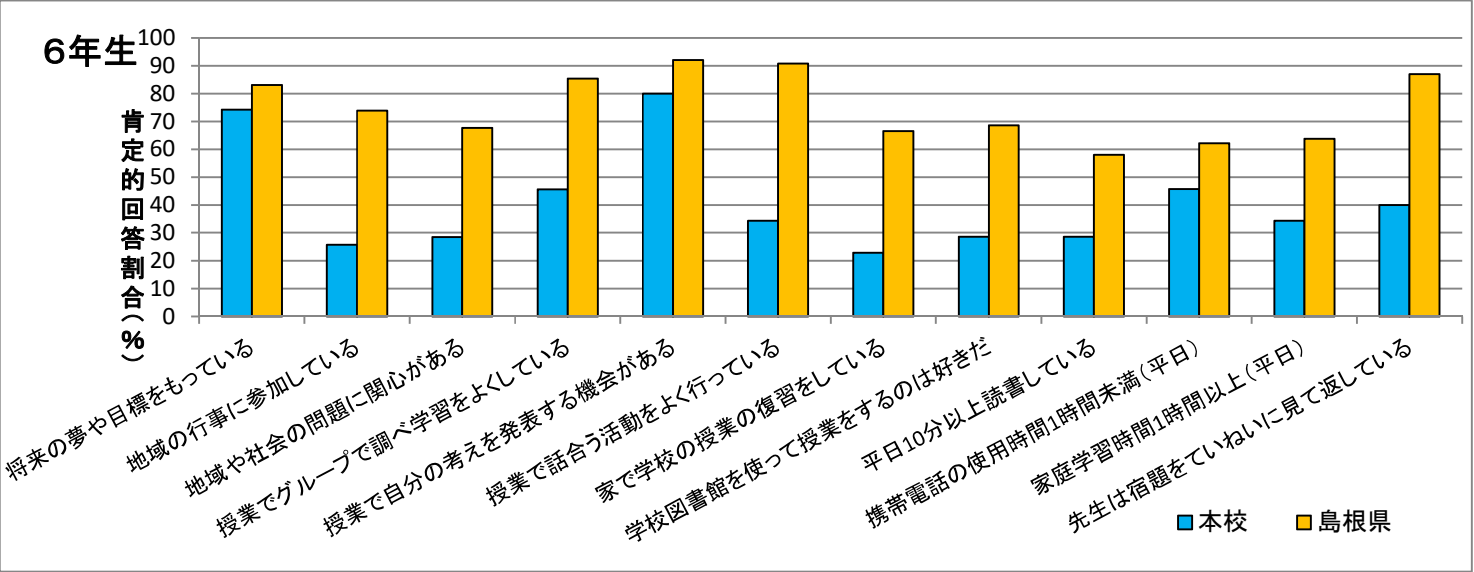
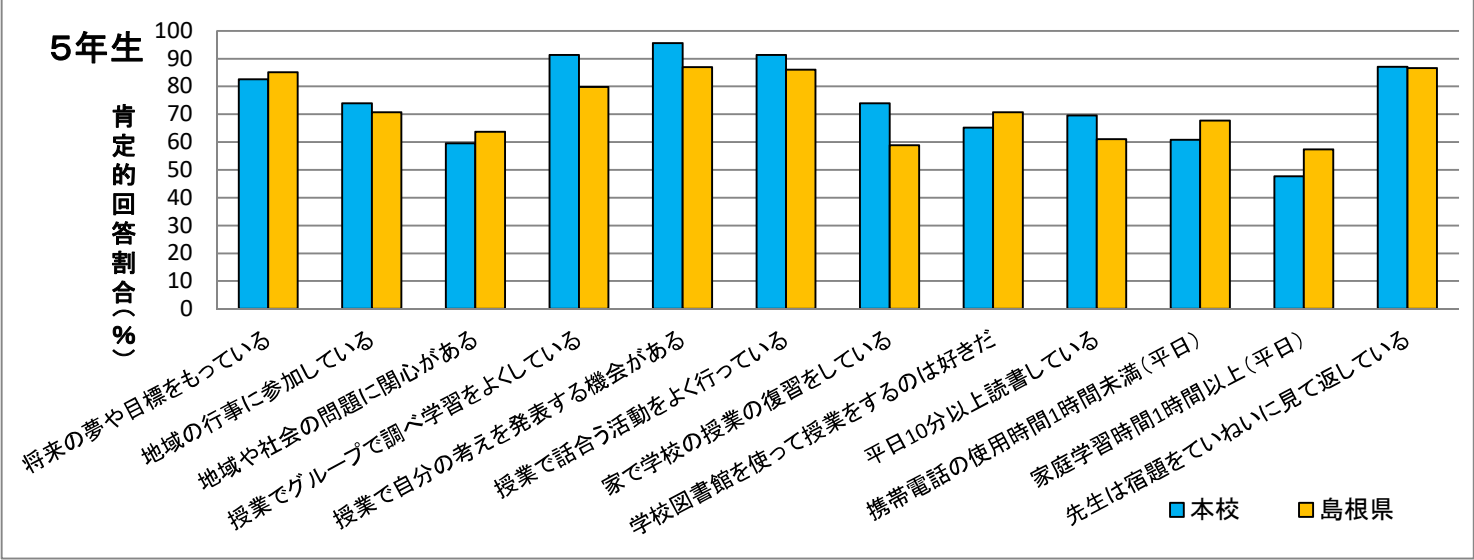
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○漢字の読み書きなど基礎的な事項についての定着はよい。 ○文章の構造を捉えて読み取ることは得意である。 ●ローマ字の定着が不十分である。 ●自分の考えをまとめることや表現を工夫して書くことに苦しさがある。	・パソコンのローマ字入力等により、ローマ字の定着を図る。 ・条件つき作文、新聞ワークシート等を活用して、短い言葉でまとめる力をつける。
	算数	○基礎基本の力がついている。 ○すべての領域において県平均を上回っている。 ●小数倍の理解が十分ではない。	・活用問題や応用問題に取り組ませる。
6年	国語	○漢字の読みの力は定着している。 ○記述式の問題については県平均を上回っている。 ●国語に対する関心、意欲の低い児童が多い。 ●ローマ字の定着が不十分である。	・漢字やローマ字の復習を行い、定着を図る。
	算数	●算数に対する学習意欲が低い児童が多い。 ●小数や分数の計算の仕方を忘れたり、混同したりしていて、正しい解を導き出すことができない。	・基礎計算プリントでの練習を繰り返し行い、計算力を身につける。 ・「これだけできた。」という達成感が味わえるような問題量やプリント枚数を工夫する。

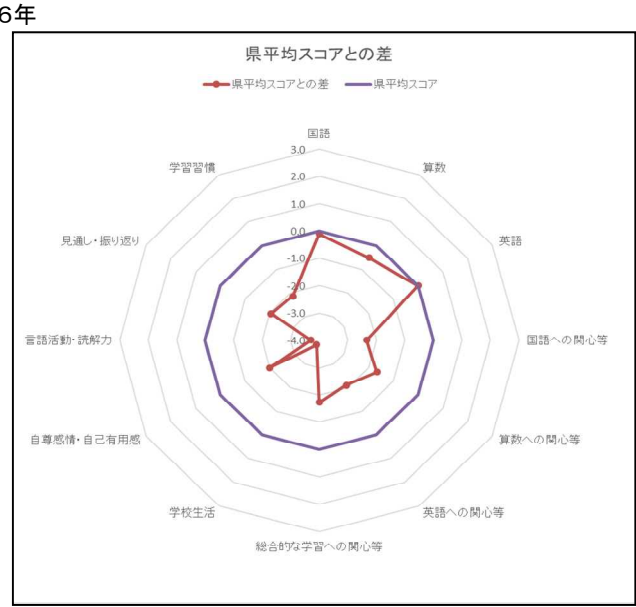
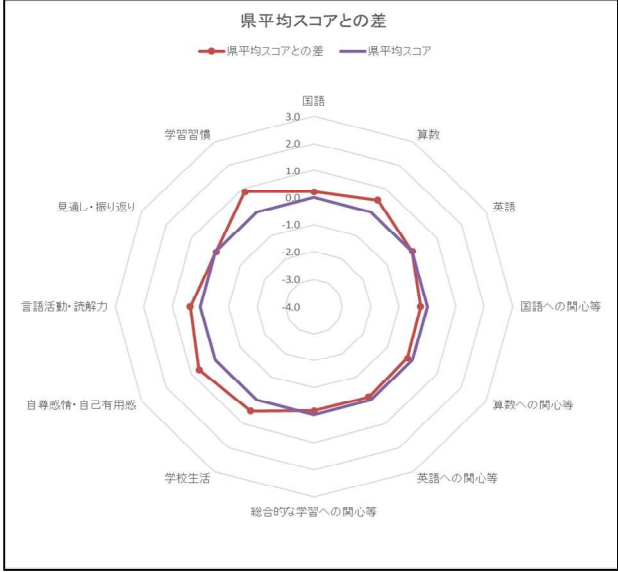
(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○グループ活動や話し合い活動について県平均を上回っている。 ●地域や社会に対しての関心が低い。	・地域の方と進んで触れ合う機会を多くし、地域の一員としての意識を高め、学習活動の活用につなげる。
	家庭学習に関わる事項	○家庭学習や生活のめあてに素直な気持ちで向かっている。 ●約半数の児童が、1時間の学習時間を確保できていない。	・家庭学習に自学を取り入れ、学習内容について自分で考える力をつける。
6年	授業改善に関わる事項	○授業で自分の考えを発表する機会が設定できている。 ●グループでの調べ学習や話し合い活動ができていない。	・ペアや少人数グループでの話し合い活動を増やす。
	家庭学習に関わる事項	●家庭学習の時間確保が十分にできていない。 ●地域や社会の問題に関心が低く、地域行事に参加する児童が少ない。	・中学校進学に向けて、家庭学習のあり方について家庭と連携して取り組む。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果



(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	63	70
	松江市	61	60
	島根県	60	58

受検者数
5年生 23 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	49	47
	松江市	52	60
	島根県	51	59

受検者数
6年生 35 人